

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|--|--|--|------|-------|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 日常生活の指導 | ①「せいかつ☆☆」(東京書籍) ②「こくご☆☆」(東京書籍) ③「さんすう☆☆」(教育出版) ④「おんがく☆☆」(東京書籍) ⑤「だいじだいじどーこだ?」(大泉書店) ⑥「馬場のほるのえほん! びきのねこ」(こぐま社) | | | |
| 目標 | <p>(知) 具体的な活動や体験の過程において、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。</p> <p>(思) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について気付き、感じたことを表現しようとすることができる。</p> <p>(学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p> | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 | 時数 |
| 1 学期 | 「朝の活動」 ・挨拶 ・靴の履き替え ・教室への移動 ・持ち物の準備、整理 ・着替え ・衣類の整頓 ・排せつ ・体力づくり ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など） | ①②③ ④⑤⑥ | (知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人の接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。 朝の会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | |
| | 「給食」 ・手洗い ・消毒 ・食事（マナーも含む） ・歯磨き | ① | (知) 食事や食事のマナー、清潔に関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 (思) 食事や食事のマナー、清潔に関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | 159.9 |
| | 「帰りの活動」 ・排せつ ・着替え ・衣類の整頓 ・持ち物の準備、整理 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・教室からの移動 ・挨拶 ・靴の履き替えなど | ①②③ ④⑤⑥ | (知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人の接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 朝の会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | |
| 1学期授業時数 | | | | | 159.9 |
| 2 学期 | 「朝の活動」 ・挨拶 ・靴の履き替え ・教室への移動 ・持ち物の準備、整理 ・着替え ・衣類の整頓 ・排せつ ・体力づくり ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など） | ①②③ ④⑤⑥ | (知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人の接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 朝の会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | |
| | 「給食」 ・手洗い ・消毒 ・食事（マナーも含む） ・歯磨き | ① | (知) 食事や食事のマナー、清潔に関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 (思) 食事や食事のマナー、清潔に関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | 184.5 |
| | 「帰りの活動」 ・排せつ ・着替え ・衣類の整頓 ・持ち物の準備、整理 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・教室からの移動 ・挨拶 ・靴の履き替えなど | ①②③ ④⑤⑥ | (知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人の接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 朝の会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | |
| 2学期授業時数 | | | | | 184.5 |

| | | | | |
|-------------|---|--|---|-------|
| 3 学 期 | <p>「朝の活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶　　・靴の履き替え ・教室への移動　　・持ち物の準備、整理 ・着替え　　・衣類の整頓 ・排せつ　　・体力づくり ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など） | <p>①②③ ④⑤⑥</p> <p>(知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人との接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活中役立てようとすることができる。 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。 朝の会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p> | 学級 | |
| | <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い　　・消毒 ・食事（マナーも含む）　　・歯磨き | ① | <p>(知) 食事や食事のマナー、清潔に関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 (思) 食事や食事のマナー、清潔に関する一連の流れが分かり、身近な生活中役立てようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p> | 学級 |
| | <p>「帰りの活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつ　　・着替え ・衣類の整頓　　・持ち物の準備、整理 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・教室からの移動　　・挨拶 ・靴の履き替えなど | <p>①②③ ④⑤⑥</p> <p>(知) 用便や身の回りの整理、身なりに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。 身近な日課・予定や身近な人との接し方、簡単な係活動などの役割について知る。 簡単な手伝いや仕事、決まりやマナーについて知る。 (思) 用便や身の回りの整理、身なりに関する一連の流れが分かり、身近な生活中役立てようとすることができる。 身近な人を知り、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 帰りの会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p> | 学級 | 86.1 |
| 3 学期授業時数 | | | | 86.1 |
| 総授業時数 | | | | 430.5 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|--|---|--|-----------|----|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 遊びの指導 | ①「せいかつ☆☆」(東京書籍) ②「こくご☆☆」(東京書籍) ③「さんすう☆☆」(教育出版) ④「おんがく☆☆」(東京書籍) ⑤「あそびのひろば4 はりえあそび」(ボプラ社) ⑥「だいじだいじどーこだ?」(大泉書店) ⑦「馬場のばるのえほん! ぴきのねこ」(こぐま社) | | | |
| 目標 | <p>(知) 教師や友達と簡単な遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、簡単な決まりのある遊びについて知る。</p> <p>(思) 教師や友達と簡単な遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、身近な遊びの中で、教師や友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。</p> <p>(学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。</p> | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 授業形態 | 時数 | |
| 通年 | 「リズム遊びをしよう」 ・身体表現 ・表現運動 | (知) 身体表現の活動を通して、拍や曲の特徴的なリズム、曲名と動きとの関わりに気付くことができる。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かしたり、音や音楽を聞いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動することができる。 (思) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 類型 ・学級 | 35 | |
| I 学期 | 「学級で遊ぼう I」 ・簡単なルールのある遊び ・教室、特別教室の使い方の決まり ・準備・片付け ・誕生会 | ①②③ ④⑤⑥⑦ | (知) 簡単な決まりのある遊びについて知る。 (思) 身近な遊びの中で、教師や学級の友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫したりすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 14 |
| | 「季節を感じよう I」 ・校内散歩 ・春見付け ・春に関する絵本の読み聞かせ | ①② | (知) 身近な生命や自然について知る。 (思) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| | 「歌遊びをしよう」 ・わらべ歌遊び ・簡単なダンスなどの表現遊び | | (知) わらべ歌遊びや表現遊びについて関心をもつ。 (思) 音や音楽に気付き、教師や学級の友達と一緒に同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 7 |
| | 「いろいろな素材と関わろう I」 ・積木遊び、ボール遊び、粘土遊び、お絵描き遊び、シール遊び、新聞紙遊び、砂・土遊び、風船遊び、磁石遊び、風・ゴムの力を利用した遊びなど | ① | (知) 様々な素材の感触を楽しみながら、遊び方を知る。 (思) 様々な素材の感触や身の回りのものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 10 |
| | 「季節を感じよう II」 ・他の季節の気候の違いに気付く ・シャボン玉遊び、水鉄砲、水風船遊び ・夏に関する絵本の読み聞かせ | ①② | (知) 身近な生命や自然について知る。 (思) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| | I 学期授業時数 | | | | 39 |
| 2 学期 | 「学級で遊ぼう II」 ・簡単なルールのある遊び ・教室、特別教室の使い方の決まり ・準備・片付け ・誕生会 | ①②③ ④⑤⑥⑦ | (知) 簡単な決まりのある遊びについて知る。 (思) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫したりすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 15 |
| | 「季節を感じよう III」 ・シャボン玉遊び、水鉄砲、水風船遊び ・夏に関する絵本の読み聞かせ | ①② | (知) 身近な生命や自然について知る。 (思) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| | 「一緒にゲームをしよう I」 ・他の学級と合同で遊ぶ ・他の学年と合同で遊ぶ | ①⑦ | (知) 簡単な決まりのある遊びについて知る。 (思) 身近な遊びの中で、教師や他の学級の友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫したりすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学年 ・学級 | 8 |
| | 「季節を感じよう IV」 ・校内散歩 ・秋見付け ・秋に関する絵本の読み聞かせ | ①② | (知) 身近な生命や自然について知る。 (思) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| | 「いろいろな素材と関わろう II」 ・積木遊び、ボール遊び、粘土遊び、お絵描き遊び、シール遊び、新聞紙遊び、砂・土遊び、磁石遊び、風・ゴムの力を利用した遊びなど | ① | (知) 様々な素材の感触を楽しみながら、遊び方を知る。 (思) 様々な素材の感触や身の回りのものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。 | 学級 | 14 |
| 2 学期授業時数 | | | | 45 | |

| | | | | | |
|-------------|--|-------------|---|---------------|-----|
| 3 学 期 | 「学級で遊ぼうⅢ」 ・簡単なルールのある遊び ・教室、特別教室の使い方の決まり ・準備・片付け ・誕生会 | ①②③ ④⑤⑥⑦ | (知) 簡単な決まりのある遊びについて知る。 (思) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫したりすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | 10 |
| | 「季節を感じようⅤ」 ・冬の気候に気付く ・お正月遊び、節分遊び ・冬に関する絵本の読み聞かせ | ①② | (知) 身近な生命や自然について知る。 (思) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学級 | 6 |
| | 「一緒にゲームをしようⅡ」 ・他の学級と合同で遊ぶ ・他の学年と合同で遊ぶ | ①⑦ | (知) 簡単な決まりのある遊びについて知る。 (思) 身近な遊びの中で、教師や他の学級の友達と簡単な決まりのある遊びをしたり、遊びを工夫したりすることができる。 (学) 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。 | 学年 ・ 学級 | 5 |
| | 3 学期授業時数 | | | | |
| 総授業時数 | | | | | 140 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | |
|-------------------|--|---|--|----------------------------|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 生活単元学習 | ①「せいいかつ☆☆」(東京書籍) ②「こくご☆☆」(東京書籍) ③「さんすう☆☆」(教育出版) ④「おんがく☆☆」(東京書籍) ⑤「あそびのひろば4 はりえあそび」(ボプラ社) ⑥「だいじだいじどーこだ?」(大泉書店) ⑦「馬場のばるのえほん! びきのねこ」(こぐま社) | | |
| 目標 | <p>(知) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。</p> <p>(思) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとすることができる。</p> <p>(学) 自分のことに取り組もうしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛けようしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうしたりする態度を養う。</p> | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 時数 |
| 通年 | 「学級生单」 ・学級の実態に合った内容を行う | ①②③ ④⑤⑥⑦ | 個別の指導計画及び学級の実態に基づく | 学級 35 |
| I 学期 | 「4年生になったよ」 ・学年の教師や友達、学年の歌を知る ・自分の教室を含めたよく使用する場所への移動を確認する ・学年Tシャツや学年旗の作成 | ① | (知) 学年の教師や友達、学年の歌、教室などの変化に気付くことができる。 (思) 身近な人々や使用する教室などの変化に気付き、その感じたことを表現することができます。 (学) 学年の教師や友達などに自ら働き掛けようとすることができる。 | 学級 4 |
| | 「1学期を頑張ろう」 ・1学期の主な行事や活動を知る ・1学期のカレンダー作り ・キャリアパスポートの作成 | | (知) 1学期の主な行事や活動の時期や内容を知ることができる。 (思) 自分が頑張りたいことを考えたり選んだりしながら、感じたことを表現することができます。 (学) 1学期の主な行事や活動に対する意欲を高めることができます。 | 学級 2 |
| | 「植物を育てよう I」 ・土作り、種まき・苗植え ・水やり、収穫 | | (知) 植物について関心をもって調べたり、安全な道具の使い方について理解したりすることができます。 (思) 植物の成長を通して、特徴や変化が分かり、それらを表現することができます。 (学) 育てる植物への関心を深め、大切に育てようとすることができます。 | 学級 5 |
| | 「入学おめでとう会があるよ」 ・入学おめでとう会に向けての準備 ・学部の友達との交流 | | (知) 入学した友達を知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 学部の友達との関わりについて関心をもち、感じたことを表現しようとすることができます。 (学) 小学部という集団に気付き、自ら働き掛けようとすることができます。 | 学部 ・ 学年 ・ 学級 4 |
| | 「安全について考え方 I」 ・歩道、横断歩道の利用 ・歩行教室 | ① | (知) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 (思) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとする。 (学) 安全についての関心をもち、意欲的に学ぼうとすることができます。 | 学級 4 |
| | 「お出掛けをしよう I」 ・行先、日程、きまり、ルールの確認 ・横断歩道、信号機、買い物の学習 ・校外学習 ・振り返り | ① | (知) 金銭の扱い方や公共施設の使い方を知ることができます。 (思) 簡單なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動することができます。 (学) 決まりを守りながら、友達と一緒に意欲的に活動しようとすることができます。 | 学年 ・ 学級 8 |
| | 「安全について考え方 II」 ・避難訓練（火災）（事前・事後学習含む）について | ① | (知) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 (思) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとする。 (学) 安全についての関心をもち、意欲的に学ぼうとすることができます。 | 学級 2 |
| | 「調理室を使おう」 ・調理実習室の使い方 ・調理活動 | | (知) 調理実習室の使い方について知るとともに、清潔・衛生についての意識を高めることができます。 (思) 清潔における必要な身辯処理が分かり、実践しようとすることができます。 (学) 手洗いを含めた調理活動に、進んで取り組もうとすることができます。 | 学級 7 |
| | 「1学期を振り返ろう」 ・1学期の振り返り ・夏休みについて | | (知) 1学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。 (思) 1学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを表現しようとすることができます。 (学) 1学期の振り返りを通して、2学期への意欲を高めることができます。 | 学級 3 |
| | 1学期授業時数 | | | |
| 2学期 | 「2学期を頑張ろう」 ・夏休みの振り返り ・2学期の主な行事や活動を知る ・2学期のカレンダー作り | | (知) 2学期の主な行事や活動の時期や内容を知ることができます。 (思) 自分が頑張りたいことを考えたり選んだりしながら、感じたことを表現することができます。 (学) 2学期の主な行事や活動に対する意欲を高めることができます。 | 学級 2 |
| | 「植物を育てよう II」 ・土作り、種まき・苗植え ・観察、水やり、収穫 | | (知) 育てる植物について知るとともに、安全な道具の使い方や世話の仕方を知ることができます。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができます。 (学) 育てる植物を大切に育てようとすることができます。 | 学級 6 |
| | 「運動会があるよ」 ・日程、内容の確認、制作物の作成 ・キャリアパスポートの作成 ・振り返り | | (知) 運動会の日時や内容について知るとともに、簡単な係活動などの役割について知ることができます。 (思) 運動会に参加し、簡単な係活動をしようとすることができます。運動会を通して感じたことを表現しようとすることができます。 (学) 運動会という行事に、自ら働き掛けようとすることができます。 | 学級 5 |

| | | | | | |
|-------------|---|---|--|--------------------------|-----|
| 2 学 期 | 「お出掛けをしようⅡ」 ・行先、日程、きまり、ルールの確認 ・校外学習 ・振り返り *「高等部文化祭」との関連含 | ① | (知) 金銭の扱い方や公共施設の使い方を知ることができる。 (思) 簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動することができる。 (学) 決まりを守りながら、友達と一緒に意欲的に活動しようとすることができる。 | 学年 ・ 学級 | 13 |
| | 「安全について考えようⅢ」 ・避難訓練（地震・津波）（事前・事後学習含む）について ・地震等の対応、暗い道の歩き方 | ① | (知) 「地震」「避難」という言葉の意味を理解し、避難時に一緒に適切に行動しようとすることができる。 (思) 身近な生活の安全に关心をもち、教師の援助を求めるながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学) 安全について気付き、意欲的に学ぼうとすることができる。 | 学級 | 4 |
| | 「お店屋さんを開こう」 ・お店に必要な物の準備、お店の練習 ・お店屋さんを開く | ① | (知) 簡単な決まりのある遊びや係活動について知る。 (思) 集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学) お店屋さんに対して、意欲をもって取り組むことができる。 | 学年 ・ 学級 | 12 |
| | 「2学期を振り返ろう」 ・2学期の振り返り ・冬休みについて | | (知) 2学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。 (思) 2学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを表現しようとすることができる。 (学) 2学期の振り返りを通して、3学期への意欲を高めることができる。 | 学級 | 3 |
| 2学期授業時数 | | | | | 45 |
| 3 学 期 | 「3学期を頑張ろう」 ・冬休みの振り返り ・3学期の主な行事や活動を知る ・3学期のカレンダー作り | | (知) 3学期の主な行事や活動の時期や内容を知ることができる。 (思) 自分が頑張りたいことを考えたり選んだりしながら、感じたことを表現することができます。 (学) 3学期の主な行事や活動に対する意欲を高めることができます。 | 学級 | 2 |
| | 「身近な人について知ろう」 ・自分と関わりのある人（家族、学校でお世話になっている人など）について知る ・日頃の感謝の気持ちを伝える活動 | ① | (知) 家族や身近な人の接し方、社会の仕組みについて知ることができます。 (思) 家族や身近な人への気持ちを表現しようとすることができる。 (学) 身近な人々に自ら働き掛けようとすることができる。 | 学級 | 10 |
| | 「卒業をお祝いしよう」 ・卒業おめでとう会に向けての準備 ・学部の友達との交流 | ① | (知) 卒業について知り、関心をもつことができる。 (思) 学部の友達との関わりについて関心をもち、感じたことを表現しようとすることができる。 (学) 卒業生をお祝いするという気持ちを高め、意欲的に取り組もうとすることができる。 | 学部 ・ 学年 ・ 学級 | 4 |
| | 「1年間を振り返ろう」 ・3学期、1年間の振り返り ・キャリアパスポートの作成 ・5年生に向けて ・掃除、荷物整理 ・春休みについて | ① | (知) 3学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。 (思) 3学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを表現しようとすることができる。 (学) 3学期の振り返りを通して、5年生への意欲を高めることができます。 | 学級 | 5 |
| 3学期授業時数 | | | | | 21 |
| 総授業時数 | | | | | 140 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|---|----------------|--|------|----|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 国語科 | ①「こくご☆☆」(東京書籍) | | | |
| 目標 | (知) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れる。 (思) 言葉が表す事柄を想起したり、受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 | 時数 |
| 通年 | 「個別学習」 *下記の単元に加え、適宜個別学習を行う | ① | 個別の指導計画に基づく | 個別 | |
| 1 学期 | 「がっこうせいかつ」 ・これまでの学校生活の写真などを見て、感じたことなどを表現する ・場面の絵や写真を見て、どんな気持ちか、何と言っているのかを考える | ① | (知) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が気持ちや要求を表していることを感じる。 (思) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 4 |
| | 「おはなしできるかな」 ・場面の絵や写真を見ながら、成り切って動作化したり、簡単なやり取りを行う ・場面の流れを考えながら、次の場面を想像したり、表現したりする | ① | (知) 身近な人との会話をを通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れる。 (思) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 5 |
| | 「お話を楽しもうⅡ」 (3びきのこぶた) ・読み聞かせを聞く ・劇遊び | | (知) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 4 |
| 1学期授業時数 | | | | | 13 |
| 2 学期 | 「どんなきもちかな」 ・場面の絵や写真を見ながら、気持ちを表現したり、その気持ちに合った表情記号を選んだりする | ① | (知) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が気持ちや要求を表していることを感じる。 (思) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 6 |
| | 「しるしをみつけよう」 ・表紙やマークを探し、その意味を考えたり、考えたことに沿って行動する | ① | (知) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつ。 (思) 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 6 |
| | 「かいてみよう」 ・いろいろな線をなぞったり、結んだりする | ① | (知) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむ。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 3 |
| 2学期授業時数 | | | | | 15 |
| 3 学期 | 「お話を楽しもうⅢ」 (ぐりとぐら) ・読み聞かせを聞く ・劇遊び | ① | (知) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 (思) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 4 |
| | 「ひらがなをよんでみよう」 ・自分の名前や教室内の掲示などに使われている、平仮名50音を読む | ① | (知) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学) 言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。 | 学級 | 3 |
| 3学期授業時数 | | | | | 7 |
| 総授業時数 | | | | | 35 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|---|-----------------------|--|------|----|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 算数科 | ①「さんすう☆☆(1)(2)」(教育出版) | | | |
| 目標 | (知) 数量や图形などについての基礎的・基本的な概念や性質などが分かるとともに、日常の事象を数量や图形などに注目して処理する技能を身に付ける。 (思) 数量や图形などに着目し、基礎的・基本的な数量や图形の性質などが分かるとともに、数学的な表現を用いて表すことができる。 (学) 数量や图形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。 | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 | 時数 |
| 通年 | 「個別学習」 *下記の単元に加え、適宜個別学習を行う | ① | 個別の指導計画に基づく | 個別 | |
| I 学期 | <p>「数と計算の学習をしよう I」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1に対応させる、過不足を数える(くみあわせ①②③) ・10までの数を順序よく数える(10までのかず かぞえましょう①②③④、10までのかず) ・数字の読み書きをする(かーどづくり①②③、10までのかず みえないものをかぞえる、うごきをかぞえる) <p>「图形の学習をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や形、大きさに着目して分類する(なかまつめ①②③) ・目的、用途及び機能に着目して分類する(なかまつめ④⑤⑥) ・形の仲間集めを行う(まる、さんかく、しかく①②③④、いろいろなかたち①) | ① | <p>(知) ものの集まりと対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かる。 ものの集まりや数詞が分かる。 個数を正しく数えたり、書き表したりすることができる。 (思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の考え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p> <p>(知) 色や形、大きさに着目して分類することができる。 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 身の回りにあるものの形に着目をもち、丸や三角、四角という名称を知る。 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思) ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 身の回りにあるものの形に着目を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p> | 学級 | 7 |
| I 学期授業時数 | | | | | 13 |
| 2 学期 | <p>「数と計算の学習をしよう II」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の大小を比べる、数字を順番に並べる(くらべてみよう①②③④) ・「0」の概念を理解する(10までのかず0のりかい) <p>「測定の学習をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長さ」「重さ」「高さ」などの概念について理解する ・一方を基準にして比べたり、量の大きさを用語を用いて表現したりする (ながい、みじかい、おもい、かるい、たかい、ひくい、どっちがおおきい、どっちがちいさい、どっちがながい、どっちがみじかい、どっちがおもい、どっちがかるい、どっちがたかい、どっちがひくい) | ① | <p>(知) 二つの数を比べて数の大小が分かる。 0の意味について分かる。 (思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の考え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p> <p>(知) 長さ、重さ、高さなどの量の大きさが分かる。 二つの量の大きさについて、一方を基準として相対的に比べることができます。 長い・短い・重い・軽い・高い・低いなどの用語が分かる。 (思) 長さ、重さ、高さなどの量を、一方を基準として比べることに着目をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学) 数量に着目をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p> | 学級 | 6 |
| 2 学期授業時数 | | | | | 15 |
| 3 学期 | <p>「データの活用の学習をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1対応をしたり、数の同等・多少を判断したりする ・○、×を用いた簡単な表を作成する (わけてみよう①②、かつのは どっち、あたったら、はずれたら) | ① | <p>(知) 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。 ものとの集まりと対応させることによって、ものの同等・多少が分かる。 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができます。 簡単な表で使用する○×の意味が分かる。 (思) 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に着目を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができます。 (学) 数量に着目をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p> | 学級 | 7 |
| 3 学期授業時数 | | | | | 7 |
| 総授業時数 | | | | | 35 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|---|-----------------|--|------|----|
| 小学部 第4学年 单一I類型 | 音楽科 | ①「おんがく☆☆」(東京書籍) | | | |
| 目標 | (知) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付ける。 (思) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聞くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。 | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 | 時数 |
| Ⅰ 学期 | 「春の音楽を楽しもう」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 ＊共通教材「ひのまる」 | ① | (知) 歌唱の活動を通して、曲の特徴的なリズムや旋律、曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 範唱を聞いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。 器楽の活動を通して、拍や曲の特徴的なリズムや楽器の音色の違いに気付くことができる。 範奏を聞き、模倣をして演奏したり、身近な打楽器を演奏したり、教師や友達と一緒に演奏したりすることができる。 音楽づくりの活動を通して、声や身の回りの様々な音の特徴、音のつなぎ方の特徴が生み出す面白さなどに触れて気付くことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができます。 身体表現の活動を通して、泊や曲の特徴的なリズム、曲名と動きとの関わりに気付くことができる。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かしたり、音や音楽を聞いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができます。 鑑賞の活動を通して、身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思) 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聞くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。 | 学級 | 6 |
| | 「梅雨の音楽を楽しもう」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 | ① | | 学級 | 4 |
| | 「夏の音楽を楽しもうⅠ」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 | ① | | 学級 | 3 |
| Ⅰ 学期授業時数 | | | | | 13 |
| 2 学期 | 「夏の音楽を楽しもうⅡ」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 | ① | (知) 歌唱の活動を通して、曲の特徴的なリズムや旋律、曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 範唱を聞いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。 器楽の活動を通して、泊や曲の特徴的なリズムや楽器の音色の違いに気付くことができる。 範奏を聞き、模倣をして演奏したり、身近な打楽器を演奏したり、教師や友達と一緒に演奏したりすることができる。 音楽づくりの活動を通して、声や身の回りの様々な音の特徴、音のつなぎ方の特徴が生み出す面白さなどに触れて気付くことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができます。 身体表現の活動を通して、泊や曲の特徴的なリズム、曲名と動きとの関わりに気付くことができる。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かしたり、音や音楽を聞いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができます。 鑑賞の活動を通して、身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思) 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聞くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| Ⅱ 学期授業時数 | | | | | 7 |
| 3 学期 | 「冬の音楽を楽しもうⅠ」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 | ① | | 学級 | 4 |
| Ⅲ 学期授業時数 | | | | | 15 |
| 3 学期 | 「冬の音楽を楽しもうⅡ」 ・季節に関する歌や曲の表現（歌唱・器楽・音楽づくり・身体表現）及び鑑賞の活動 | ① | (知) 歌唱の活動を通して、曲の特徴的なリズムや旋律、曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 範唱を聞いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。 器楽の活動を通して、泊や曲の特徴的なリズムや楽器の音色の違いに気付くことができる。 範奏を聞き、模倣をして演奏したり、身近な打楽器を演奏したり、教師や友達と一緒に演奏したりすることができる。 音楽づくりの活動を通して、声や身の回りの様々な音の特徴、音のつなぎ方の特徴が生み出す面白さなどに触れて気付くことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができます。 身体表現の活動を通して、泊や曲の特徴的なリズム、曲名と動きとの関わりに気付くことができる。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かしたり、音や音楽を聞いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができます。 鑑賞の活動を通して、身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思) 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聞くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。 | 学級 | 4 |
| | 「1年の音楽を振り返ろう」 ・国歌や式典などで使用する楽曲を用いた活動 ・これまでの歌や曲などを振り返る | ① | | 学級 | 3 |
| Ⅳ 学期授業時数 | | | | | 7 |
| 総授業時数 | | | | | 35 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|---|-------------------------|---|----|----|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 図画工作科 | ①「あそびのひろば4 はりえあそび」(ポプラ) | | | |
| 目標 | (知) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 | | | | |
| I 学期 | 「紙で作ろう」(貼り絵) ・はさみで好きな形に紙を切る ・切った紙をのりで貼る ・身近な材料を飾り、作品を作る ・自分や友達の作品を鑑賞する | ① | (知) いろいろな種類の紙を切ったり、枠内に貼ったりすることができる。また、身近な材料を配置し、作品を作り出すことができる。 (思) 紙を切ったり貼ったりしながら、表したいことを思い付き、表現することができる。 (学) 紙を切ったり貼ったり、材料を飾ったりすることを楽しむ。 | 学級 | 7 |
| | 「模様を楽しもう」(デカルコマニー) ・紙などを二つに折って、片方に絵の具を付ける ・紙などをとじてしっかりと押さえ、ゆっくりと開き、模様を作る ・自分や友達の作品を鑑賞する | | (知) 紙などに絵の具を付け、折り広げて、模様を作り出すことができる。 (思) 紙などを折り広げ、模様が広がる様子に気付き、表したいことを思い付き、表現することができる。 (学) 紙などを折り広げ、模様が広がる様子を楽しむ。 | 学級 | 6 |
| I 学期授業時数 | | | | | 13 |
| 2 学期 | 「版画をしよう」(コラグラフ版画) ・様々な材料を触ったり、切ったり、配置を考えて貼ったりしながら版を作る ・ローラーなどで色を全体に付ける ・ばれんなどでこすり、写し出す ・自分や友達の作品を鑑賞する | ① | (知) 写した形や色を組み合わせた感じを見付け、工夫して表すことができる。 (思) 材料や版を組み合わせながら、表したいことを思い付き、表現することができる。 (学) 材料や版を組み合わせて表すことを楽しむ。 | 学級 | 8 |
| | 「粘土で作ろう」 ・粘土をこねながら色を付ける、伸ばす ・伸ばした粘土を立体に貼り付ける ・飾りを付ける ・自分や友達の作品を鑑賞する | | (知) 粘土を伸ばしたり、立体に貼り付けたりすることができる。 (思) 粘土を貼り付けたり、飾りを付けたりしながら、表したいことを思い付き、表現することができる。 (学) 粘土を伸ばしたり、立体に貼り付けたりすることを楽しむ。 | 学級 | 7 |
| 2 学期授業時数 | | | | | 15 |
| 3 学期 | 「染めて作ろう」 ・様々な種類の紙を折る、絞る ・色水などに付けて染め、模様を作る ・自分や友達の作品を鑑賞する | | (知) 紙を折り絞り、色を染めることができる。 (思) 様々な紙の折り方、絞り方を試しながら、表したいことを思い付き、表現することができる。 (学) 紙を折り絞り、染めることを楽しむ。 | 学級 | 5 |
| | 「1年間を振り返ろう」 ・これまで使った技法を用いて、作品バッグの色付け等を行う ・これまでの作品作りを振り返る | | (知) これまで試した技法を振り返りながら、色付けを行うことができる。 (思) 色付けを行う中で、表したいことを試すことができる。 (学) 技法を用いながら、色を付けることを楽しむ。 | 学級 | 2 |
| 3 学期授業時数 | | | | | 7 |
| 総授業時数 | | | | | 35 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | | | |
|-------------------|--|----------------------|---|---------------|----|
| 小学部 第4学年 单一I類型 | 体育科 | ①「だいじだいじびーこだ？」（大泉書店） | | | |
| 目標 | <p>(知) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。</p> <p>(思) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向か、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p> | | | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 教科書 | 単元目標 | 授業形態 | 時数 |
| 1 学期 | 「健康について考えよう」 ・身体測定や検診の決まりを確認する | ① | (知) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思) 健康な生活に必要な事項に慣れる。 (学) 簡単な決まりを守り、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。 | 学級 | 1 |
| | 「体つくり運動をしようⅠ」 ・体ほぐし運動、多様な動きをつくる運動 | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思) 基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。 | 学級 | 4 |
| | 「器械・器具を使っての運動をしよう」 ・トランポリンや低い平均台、マットや低い鉄棒、跳び箱を使った運動 | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。 | 学級 | 6 |
| | 「水の中での運動をしようⅠ」 ・着替え、シャワー、水かけっこ、走る・歩く | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。 | 学級 | 2 |
| 1学期授業時数 | | | | | 13 |
| 2 学期 | 「水の中での運動をしようⅡ」 ・着替え、シャワー、水かけっこ、走る・歩く | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。 | 学級 | 2 |
| | 「走・跳の運動をしよう」 ・かけっこや緩やかなカーブを蛇行して走る、折り返しリレー ・タイミングを計りながら、一人で片足や両足で連続して上方、前方に跳ぶ | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。 | 学級 | 4 |
| | 「運動会の練習をしよう」 ・運動会に向けた練習（準備運動、障害物走、ボール運び競争） | | (知) 教師の支援を受けながら、準備運動をしたり、障害物をまといだり、ボールを運んだりして、楽しく体を動かすことができる。 (思) 準備運動をしたり、障害物をまといだりして、ボールを運んだりして、体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができます。 (学) 簡単なきまりを守り、準備運動や障害物走、ボール運び競争をしようとすることができる。 | 類型 ・ 学級 | 5 |
| | 「ボール運動をしようⅠ」 ・つく、転がす、投げる、当てる、捕るなどの簡単なボール操作をする運動 ・的当て、ボール送りなどのゲーム | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。 | 学級 | 4 |
| 2学期授業時数 | | | | | 15 |
| 3 学期 | 「ボール運動をしようⅡ」 ・つく、転がす、投げる、当てる、捕るなどの簡単なボール操作をする運動 ・的当て、ボール送りなどのゲーム | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。 | 学級 | 3 |
| | 「体つくり運動をしようⅡ」 ・体ほぐし運動、多様な動きをつくる運動 | | (知) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思) 基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができます。 (学) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。 | 学級 | 4 |
| 3学期授業時数 | | | | | 7 |
| 総授業時数 | | | | | 35 |

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

| 学部・学年 類型 | 教科等 | 教科書 | |
|-------------------|---|-------------|---------------|
| 小学部 第4学年 単一I類型 | 自立活動 | | |
| 目標 | 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培うことができる。 | | |
| 期 | 単元名・指導内容 | 単元目標 | 授業形態 |
| I 学期 | 6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 | 個別の指導計画に基づく | 学級 ・ 個別 |
| I学期授業時数 | | | 48.1 |
| 2 学期 | 6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 | 個別の指導計画に基づく | 学級 ・ 個別 |
| 2学期授業時数 | | | 55.5 |
| 3 学期 | 6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 | 個別の指導計画に基づく | 学級 ・ 個別 |
| 3学期授業時数 | | | 25.9 |
| 総授業時数 | | | 129.5 |